

アウトカム指標

指標12: 緊急輸送道路における  
橋梁の耐震補強整備率

緊急輸送道路における橋梁の耐震補強整備率を6%向上します。(9橋実施)

現状  
(平成15年度)

53  
%  
(84橋)



目標  
(平成16年度)

59  
%  
(93橋) **9橋実施**

緊急輸送道路における橋梁の耐震補強

埼玉県内には、活断層が、可能性のあるものを含め13箇所存在しており、自然災害時の危機管理や地震への備えが課題となっています。

埼玉県内には、災害時の救援活動における効率的な輸送ルートの確保のために『緊急輸送道路網』が指定されています。

災害時の緊急輸送道路における橋梁のうち、5割の橋梁が耐震補強未完了です。

緊急輸送道路における橋梁の耐震補強を実施することは、以下の効果につながります。

- ・ 災害時における地域の孤立化の回避
- ・ 災害時における迅速な救援活動・物資輸送の確保



対策前



対策後

橋台補強(コンクリート増厚、地盤改良)と落橋防止装置の設置  
(国道298号 三郷放水路側道橋)

渋滞の解消・緩和

規格の高い道路の  
利用向上

円滑で安全な  
歩行空間の確保

都市の景観・  
防災の向上

地域の自立性向上

交通事故の削減

防災機能の強化

騒音の改善

直轄国道では7割の橋梁が耐震補強未完了

- ・ 災害時の緊急輸送道路における橋梁のうち、5割の橋梁が耐震補強未完了です。
- ・ 特に、直轄国道では7割の橋梁が未だ耐震補強が完了しておらず、また立体交差する道路・鉄道への二次災害が懸念される跨道橋・跨線橋については17箇所が未完了となっています。

緊急輸送道路の橋梁耐震補強未整備箇所

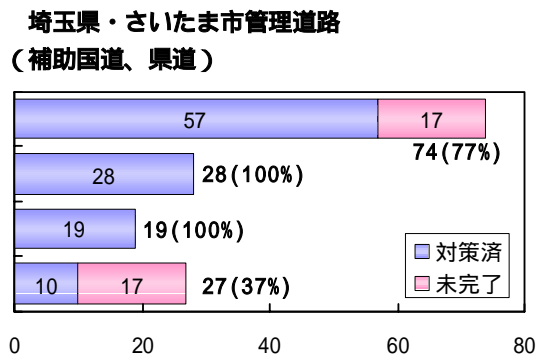
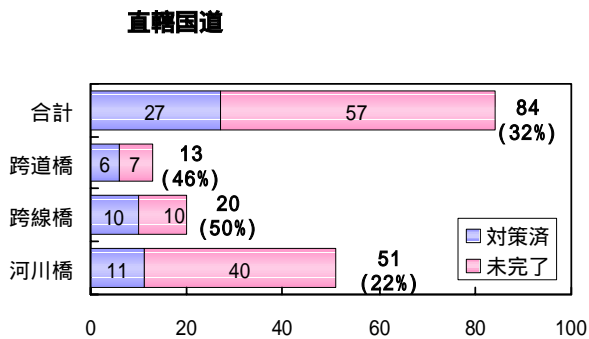


凡例	
<span style="color: red;">—</span>	第1次特定緊急輸送道路
<span style="color: cyan;">—</span>	第1次緊急輸送道路
<span style="color: green;">—</span>	第2次緊急輸送道路

出典：「緊急輸送道路網図」（埼玉県：平成13年策定）をもとに作成

第1次特定緊急輸送道路：高速道路や国道など4車線道路とこれらを補完する広域幹線道路  
 第1次緊急輸送道路：地域間の支援活動としてネットワークされる主要路線  
 第2次緊急輸送道路：地域内の防災拠点などを連絡する路線

緊急輸送道路における橋梁耐震補強の整備状況



注：グラフ中の％は対策済みの箇所の割合  
 直轄国道は、以下の条件を満たす橋梁とする  
 ・ 1.5m以上の橋梁（人道橋を除く）  
 ・ 昭和55年以前の道路橋示方書に基づき設計された橋梁  
 ・ 緊急輸送道路の橋梁  
 補助国道、県道は以下の条件を満たす橋梁とする  
 ・ 重点的に整備を進める重要橋梁  
 ・ 跨道橋には、緊急輸送道路を跨ぐ橋を含む

渋滞の解消・緩和

規格の高い道路の  
利用向上

歩行空間の確保  
円滑で安全な

都市の景観・  
防災の向上

地域の自立性向上

交通事故の削減

防災機能の強化

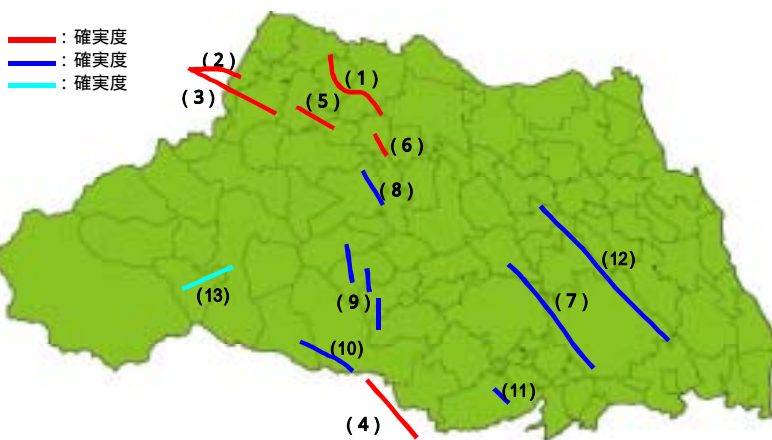
騒音の改善

地震による甚大な被害が発生

・活断層が存在する埼玉県では地震への備えが課題であり、綾瀬川断層による地震（マグニチュード7.4）を想定すると県南地域では阪神・淡路大震災（マグニチュード7.3(震度6)）を上回る約11.5万棟の全壊が予測されています。

課題 災害時の緊急輸送路の確保

埼玉県の想定断層位置図

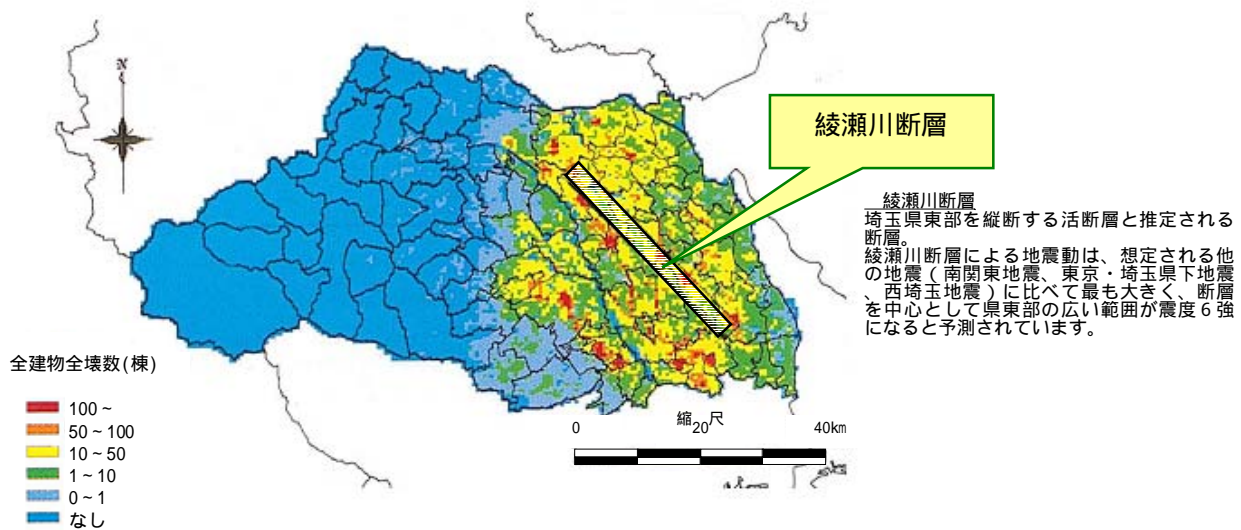


図中番号	断層名
(1)	深谷断層
(2)	神川断層
(3)	平井断層
(4)	立川断層
(5)	榎挽断層
(6)	江南断層
(7)	荒川断層
(8)	今市一管谷断層
(9)	越生断層
(10)	名栗断層
(11)	所沢聖地霊園断層
(12)	綾瀬川断層
(13)	浦山口断層

確実度 : 活断層が確実であるもの  
 確実度 : 活断層と推定されるもの（位置・変位の向きを特定できるが、決定的資料に欠けるもの）  
 確実度 : 活断層の可能性のあるもの（活断層の可能性はあるが、他の原因による浸食地形も考えられる）

出典：埼玉県震災予防のまちづくり点検MAP(H15)

綾瀬川断層による全建物全壊分布



出典：埼玉県地震被害想定調査報告書（平成11年）

渋滞の解消・緩和

規格の高い道路の  
利用向上

歩行空間の確保  
円滑で安全な

都市の景観・  
防災の向上

地域の自立性向上

交通事故の削減

防災機能の強化

騒音の改善

方針と対策

災害に強い道路ネットワークづくりを目指し、「緊急輸送道路における橋梁の耐震補強」を推進します。

施策一覧



主な事業

緊急輸送道路における橋梁の耐震補強

路線名	対象橋梁	対策内容	事業完了年度	事業主体
① 国道16号	柳橋・上り(庄和町)	橋脚補強(コンクリート巻き立て) 落橋防止装置	平成16年度	国土交通省 大宮国道事務所
② 国道16号	柳橋・下り(庄和町)	橋脚補強(コンクリート巻き立て) 落橋防止装置	平成16年度	
③ 国道17号	大幡跨線橋(熊谷市)	橋脚補強(コンクリート巻き立て) 落橋防止装置	平成16年度	埼玉県
④ 国道140号	親鼻橋(皆野町)	橋脚補強(コンクリート巻き立て)	平成16年度	
⑤ 国道254号	玉淀大橋(寄居町)	橋脚補強(コンクリート巻き立て) 落橋防止装置	平成16年度	
⑥ (主)東松山鴻巣線	御成橋(鴻巣市)	橋脚補強(コンクリート巻き立て) 落橋防止装置	平成16年度	
⑦ (主)深谷嵐山線	植松橋(川本町)	橋脚補強(コンクリート巻き立て) 落橋防止装置	平成16年度	
⑧ (主)越谷野田線	野田橋(松伏町)	橋脚補強(コンクリート巻き立て) 落橋防止装置	平成16年度	
⑨ (一)大野東松山線	月田橋(東松山市)	橋脚補強(コンクリート巻き立て) 落橋防止装置	平成16年度	

渋滞の解消・緩和

規格の高い道路の  
利用向上

歩行空間の確保  
円滑で安全な

防災の向上  
都市の景観・

地域の自立性向上

交通事故の削減

防災機能の強化

騒音の改善



対策事例

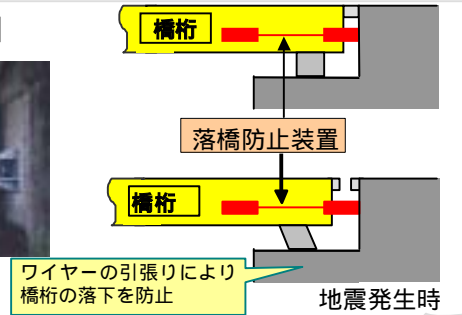
【緊急輸送道路における橋梁部の耐震補強整備】

落橋防止装置の設置やコンクリート巻き立てによる耐震補強など、橋梁部の耐震補強を行い、災害に強い緊急輸送道路の整備を進めます。

【対策事例：落橋防止装置 一般国道463号羽根倉橋】



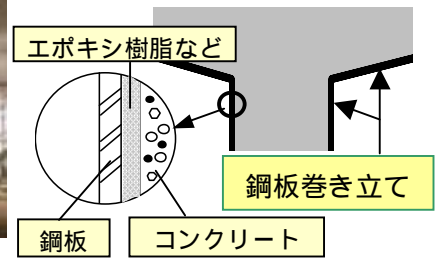
(左：施工前、右：施工後)



【対策事例：橋脚の耐震補強（鋼板巻き立て） 一般国道17号宮原高架橋】



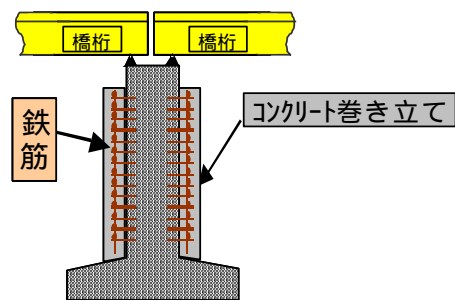
(左：施工前、右：施工後)



【対策事例：橋脚の耐震補強（コンクリート巻き立て） 一般国道463号羽根倉橋】



(左：施工前、右：施工後)



渋滞の解消・緩和

規格の高い道路の利用向上

歩行空間の確保  
円滑で安全な

都市の景観・防災の向上

地域の自立性向上

交通事故の削減

防災機能の強化

騒音の改善